2026/2/9 版

「自己免疫疾患のリスク多型の同定と機能解析」に参加された方へ

京都大学
医学部　免疫細胞生物学

1. 連絡内容

研究課題「自己免疫疾患のリスク多型の同定と機能解析」では、皆様の血液試料を用いて遺伝子発現量などの多彩な分子情報を詳細かつ網羅的に解析することで、自己免疫疾患の病態解明を目指しています。本研究課題において、以下の変更を行うことになりました。

・共同研究施設の追加
・試料の追加（リンパ節）
・研究期間の延長
・北海道大学の責任者の変更

この研究の対象者に該当する方で、研究参加の同意を撤回されたい場合、末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

2. 研究期間

この研究は、理化学研究所倫理審査委員会で審査・承認され、京都大学大学院医学研究科長ならびに京都大学医学部附属病院長の許可を受け実施されています。2021/07/08 に開始しており、2031/03/31 まで継続予定です。

3. 対象となる方

本研究は以下の方を対象としています。
・2021 年 7 月 8 日以降、「自己免疫疾患のリスク多型の同定と機能解析」の研究に参加された自己免疫疾患に罹患された方。

4. 研究の概要（目的・方法）

自己免疫疾患は免疫システムが自己組織を障害する疾患群であり、人口の１％以上が罹患する難病です。自己免疫疾患の多くは原因が不明であり有効な治療法が存在しないため、自己免疫疾患の病態解明と、それに基づく創薬標的の同定は大きな社会ニーズとなっています。自己免疫疾患の発症リスクには多型が強く関与しており、大規模ゲノム解析によって自己免疫疾患のリスク多型が数多く同定されています。リスク多型の機能を正確に理解するためには、さまざまな免疫細胞における多彩な分子情報がリスク多型とどのように関連するのかを網羅的に評価することが必要です。本研究では、研究参加者の方から末梢血を収集し、広範囲の細胞を分取し、遺伝子発現量などの多彩な分子情報を詳細かつ網羅的に解析します。また、これらのデータを統合解析して、リスク多型との関連を確認することで、リスク多型の機能を解明することを目指しています。本研究でご提供頂いた情報・試料は適切に仮名化され、厳重なセキュリティ下で下記の研究機関と共有されます。

5. 研究に用いる試料・情報

［試料］血液 30ml、リンパ節組織、関節組織

［情報］身長・体重などの基本的な身体情報

発症年齢・疾患活動性・各種検査結果などの基本的な臨床情報

［試料・情報の管理責任者］

医学部　免疫細胞生物学

准教授　吉富啓之

6. 研究機関・研究責任者

本研究を実施する機関と責任者は以下のとおりです。

［研究機関］

理化学研究所生命医科学研究センター　ヒト免疫遺伝研究チーム　チームディレクター　石垣和慶

［共同研究機関］

学校法人　東京女子医科大学　教授　猪狩勝則

国立大学法人　京都大学　准教授　吉富啓之

国立大学法人　北海道大学　教授　河野通仁

国立大学法人　岡山大学　助教　勝山隆行

研究開発法人　国立長寿医療研究センター　センター長　尾崎浩一

学校法人　産業医科大学　教授　田中良哉

学校法人慶應義塾　慶應義塾大学　助教　河野通大

国立病院機構　相模原病院　部長　松井利浩

JA 北海道厚生連　帯広厚生病院　血液内科　主任部長　若狭　健太郎

JA 北海道厚生連　帯広厚生病院　消化器内科（リウマチ・糖尿病）　主任部長　清水裕香

［業務委託先］

タカラバイオ株式会社、株式会社ハプロファーマ、株式会社 Cancer Precision Medicine などの実験技術を有した委託機関

7. 問合せ等の連絡先

問い合わせ先：京都大学

担当者：吉富　啓之（よしとみ　ひろゆき）
所属：　医学部　免疫細胞生物学
電話番号：075-753-4659
住所：〒606-8501
京都市左京区吉田近衛町

苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口
（Tel）075-751-4748 （E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp